

みしま

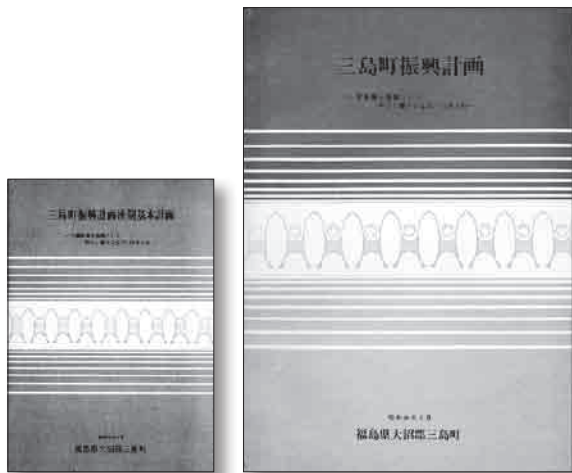
この美しい山村の
10年後へ

第四次三島町振興計画の策定に向けて

2009
12

広報みしま No. 201

JR 只見線・只見川第1鉄橋（11月4日撮影）



第一次三島町振興計画
(昭和 56 年策定)



第一次三島町振興計画
後期基本計画
(昭和 61 年策定)



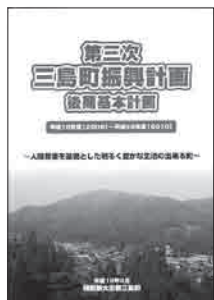
第二次三島町振興計画
(平成 3 年策定)



第二次三島町振興計画
後期基本計画
(平成 8 年策定)



第三次三島町振興計画
(平成 13 年策定)



第三次三島町振興計画
後期基本計画
(平成 18 年策定)

第四次三島町振興計画の策定に向けて

町の総合計画である「三島町振興計画」は、平成13年度に第三次三島町振興計画を策定し、来年度が目標年次である10年目の平成22年度を迎えます。この10年間を見直し、これからの10年を見据えた第四次三島町振興計画が策定されます。策定期間は平成23年3月までの1年4カ月間です。町民の皆さんから多くのご意見、ご提案をいただきながら、より良い計画を作り上げていきたいと考えています。振興計画は、町の総合的な指針となる大事な計画です。三島町の将来のために、皆さんからの町づくりに対するお考えやご提案をお待ちしております。

振興計画とは

●計画の目的

町民一人一人の豊かな生活を実現するために、これまでの町づくりとこれからの町内外の社会動向を踏まえ、将来に向けた魅力的で個性ある三島町創造のための総合的な指針とするものです。

●構成と計画期間

①基本構想

10年後の平成32年度を目標年次とした将来の目標と、それを実現するために必要な施策の大綱です。

②基本計画

5年後の平成27年度を目標年次とし、基本構想に基づいた地域の総合的で一体的な整備のための基本的内容を定めるものです。

③実施計画

3年ごとの具体的な事業内容や財源などを毎年見直し、毎年度の予算編成の指針とするものです。

●計画策定に向けた組織体制



地区座談会

アンケート

パブリックコメント

※広報誌やホームページによる意見募集

策定部会

全役場職員ならびに策定メンバー（一般住民）で構成し、各分野における具体的施策を各意見徴収の結果をもとに、計画素案としてまとめます。

(部会構成案)
① 経済部会 ② 健康部会
③ 教育部会 ④ 行財政部会

策定班

役場各係の長、保健師、役場若手職員 CHANG^{チェンジ}E代表、策定メンバー（一般住民）で構成し、各策定部会で検討した内容を計画素案として取りまとめます。

策定委員会

役場各課等の長で構成された組織で、策定班で検討された計画の素案等についての総合調整、見直しを行います。

振興計画審議会

議会

●計画策定までの予定

平成21年11月 策定要綱などの制定
策定メンバー公募

平成21年12月 策定班・策定委員会
振興計画審議会

策定部会
地区座談会

町づくりアンケート

平成22年4月 策定部会・策定班での作業

● 地区座談会とアンケートの結果整理と分析

● 各種調査

● 計画の成文化、調整、検討

平成22年10月 策定班・策定委員会
● 計画素案の検討、決定

平成22年12月 振興計画審議会
地区座談会

平成23年3月 議会提案

第四次三島町振興計画 策定・施行

※策定部会は随時開催、策定班は月1回程度の開催を予定しています。

募集中 振興計画策定メンバー

あなたの思いを町の計画に

役場職員と一緒に
町の新しい計画を作りませんか

平成23年度から32年度までの「第四次三島町振興計画」の策定に当たり、役場職員と一緒に計画の素案を作成していただく方を募集しています。

■募集人数

若干名

■応募の資格

次に掲げる要件を満たす方
① 町内に在住または勤務している方

② 月1回程度の会議に出席して意見を述べていただける方

■応募方法

役場総務課で配布している応募用紙に必要事項をご記入の上提出してください。

■応募締切

平成21年12月25日

図 役場 総務課 企画財政係

☎ (48) 5515





2

1_ 高円宮杯全日本中学校英語弁論大会福島県大会に出場した五十嵐美香さん（三島中3年・西方）に、齋藤茂樹町長から表彰状が手渡された

2_ 合唱した三島小児童の皆さん。曲は「パフ」「ドレミの歌」

3_ 素謡を演じた三島宝生会の皆さん。前列左から矢澤英男さん、横田源一さん、後列左から奥村吉雄さん、高野直治さん、齋藤令子さん

4_ 合唱した三島中生徒の皆さん。曲は女声合唱で「Amazing Grace」、男声合唱で「あなたに」、混声合唱で「YELL」「生きる」

5-9_ カラオケを披露した皆さん

5_ 五十嵐健郎さん 6_ 板橋久雄さん 7_ 中丸一雄さん 8_ 小林美保さん 9_ 諏訪義幸さん

会場には書、絵画、写真、生け花など町民の作品が多数展示されたほか、宮下婦人会により食堂が運営されました。また、茶道を愛好する茜会により茶室が設けられ、抹茶とお菓子が振る舞われました。役場前車庫では白菜や大根などの農産物や、揚げたてのコロッケなどが販売されました。



12

11

10

生涯学習文化表彰

五十嵐 美香さん

高円宮杯全日本中学校英語弁論大会
福島県大会出場



1



4



3



9

8

7



6

5

三島町文化祭は11月3日（文化の日）、町民センターで行われました。生涯学習文化表彰では、高円宮杯全日本中学校英語弁論大会福島県大会に出場した五十嵐美香さん（三島中3年・西方）が表彰されました。また、社会を明るくする運動標語コンクールと交通安全運動標語コンクールの表彰式が行われ、特選を受賞した6人の小中学生が表彰されました。（受賞者は11ページに掲載）

続いて青少年の主張が行われ、5人の小中学生が調べたことや学んだことを発表しました。その後、小中学生による合唱や一般参加者による演芸会が行われ、それぞれ日ごろの練習の成果を披露しました。

会場には書、絵画、写真、生け花など町民の作品が多数展示されたほか、宮下婦人会により食堂が運営されました。また、茶道を愛好する茜会により茶室が設けられ、抹茶とお菓子が振る舞われました。役場前車庫では白菜や大根などの農産物や、揚げたてのコロッケなどが販売されました。

10_ 茜会の茶室では、茶道に従って来場者に抹茶とお菓子が振る舞われた。写真は茶をたてる二瓶苑子さん
11,12_ 役場前車庫で行われたみしまふれあい市では、白菜や大根、大豆、柿など新鮮な秋の味覚が並んだほか、会津地鶏焼き鳥、コロッケ、みそ田楽、クレープなどが販売された

光ファイバーケーブル敷設工事実施中



情報通信の道「光ファイバー網」がやってきます

光ファイバーケーブル敷設工事

概要

■施工区域 町内全域

■ケーブル延長 39.8km

敷設工事はNTT柱や電力柱などの電柱に架設する工事で、町内の主な幹線にあたる部分に光ファイバーケーブルを整備するものです。

敷設後のサービス

超高速インターネットについては、来年春をめどにNTTからのサービス提供が開始されます。なお、サービス開始に向け事前に仮申込などの手続きがあります。

放送（テレビ）・通信（告知等）については、座談会でご説明させていただいた通り、次年度以降の事業として現在も検討を進めています。詳しい内容については、あらためてお知らせいたします。

超高速インターネット
フレッツ光
◎仮申込受付中◎

（株）NTT 東日本の超高速インターネットサービス「フレッツ光」の仮申込を受け付けています。サービスの開始時期は同社と協議中です。ご利用希望の方は、各世帯に先日配布した仮申込用紙を12月14日（月）までに役場総務課へご提出ください。詳しくはお問い合わせください。 役場 総務課 企画財政係 ☎(48)5515



町内の幹線（黒色実線部分）に光ファイバーケーブルが整備されます。

二期期に入ってから、国語の授業で「ごみ問題ってなあに」という説明文を読んだ。そこで筆者は、今日の日本の社会は豊富な物に囲まれていても、物を大切にしようとする心が失われようとしていて、それがごみ問題の大きな原因になっているということを述べていた。それを読んでわたしは、どきつとした。今までの自分のやっていったことを思い出した。

4年生のとき、街の大きな店の売り場で筆箱を見つけた。学校の女の子たちが持っているような、はよりのチェックがらのかわいい筆箱だ。

「お母さん、この筆箱買って」と思わず言ってしまった。すると母に、

「今使っているのがあるじゃない。仕方がないな。ちゃんと勉強するなら買ってあげる」と言われ、買ってもらった。今は、前に使っていた筆箱がどこに行ってしまったかも分からない。今思うと、どうしてそんなことをしてしまったのだろうと思うし、捨ててしまった物がかわいそうだ。

そんなことがあり、わたしは国語の授業のグループで「人が出すごみの内容と、ごみの減らし方」について調べることにした。

「物」と「ごみ」

三島小5年

細堀

華さん

中平



まず、どんなごみがどれだけ家庭で出ているかを調べた。家でごみ箱の横に紙をはって置き、ごみを出すときに何を捨てたかを紙に書くという方法だ。

その結果、ティッシュ、包み紙などの「紙類」が一番多いことが分かった。次はペットボトル、容器などの「プラスチック類」だ。その次が「生ごみ」だ。

これは「世界のごみの排出量」を調べた他のグループと似た結果だった。世界の中で、ごみを多く出しているのは豊かな国と

いわれているアメリカ、日本、イギリスなどだった。そのごみの内容が、紙類、生ごみ、プラスチックだそう。わたしたちの家庭から出るごみとほとんど同じだ。そしてわたしは、この紙、生ごみ、プラスチックなどはすべて再利用できるものなのではないかと感じた。

調べた結果、今取り組めそうなごみを減らす方法としてはこのようなことがある。わたしの家で実際にやっているといいと思うのは、フリーマーケットに物

を出すことだ。母やわたしがいらなくなった小物や服をマーケットに出したら、お客さんがうれしそうに買って行ってくれた。これで、わたしたちがいらないくなった物はごみにはならない。二つ目は、エコバッグを使うことだ。買い物をして商品をもらうときには、家族も必ず紙やプラスチックの容器などの余計な包装を断るようになっている。三つ目は、祖父の家でやっていることだが、生ごみを畑に作った木の枠の中に集めて捨てるようにしていることだ。生ごみは分解されて肥料になり、ごみとして出すことはない。

外国でのごみを減らす取り組みも調べてみた。その中で、日本も見習ったほうがよいと思ったのは、まずシンガポールはポイ捨てをすると罰金を取られるという法律だ。このためシンガポールは世界一きれいな都市といわれているそう。それからドイツでは、使い捨ての入れ物を生産した会社や売ったお店がお金を負担して、回収したり再生したりしなければならぬそう。そしてオランダでは、紙も含めて29種類のごみについて、それぞれ決められた期日までに、どのようにしてどれだけ減らせるか目標を決めて取り組んでいるということだ。

これらの外国の取り組みは、法律として国全体で取り組んでいるので、日本もみんなでごみを減らすこと、物をごみにしないことに取り組んでいく必要があると思った。

わたしの住んでいる三島町でも、町のごみの回収のときには、燃えるごみ、プラスチックごみ、粗大ごみ、金属ごみ、資源ごみなど、すごく細かく分別して出さなくてはいけない。家でもごみ箱の色を変えて、ごみの分別をしている。西方地区のお店では、ジュースを買って飲んだ後、びんを戻すとお金がいくらか返される。大変だと思うときもあったが、再生できる物は再生し、ごみを減らすためにとっても必要なことなのだと今では分かる。

こうしたことは、一人だけではなく町のみんなで、国のみんなでも真剣に取り組んでいかなければならないと思う。

江戸時代の人やマラウイという国の人は、お金持ちではないが、物を大切にし、工夫して、再生して使うことが上手だったそう。それが生活の中で、当たり前なことになっている。

わたしたちにもできないことはない。物を大切にすることを取り戻して、みんなで工夫して生活していきたい。

ぼくの住んでいる町、三島町は、桐がとて有名で町のいたるところに桐の木があります。桐の木といっても、本当は木ではなく、草の仲間なのです。草と同じように木の幹の中心に穴が開いていることから、桐が草の仲間だということが分かります。5月ごろには紫色の美しい花が咲き、町がより一層きれいに見えてきます。

ぼくのお父さんは、桐の管理をする仕事もしています。だから、毎年4月から6月に一度、桐の生長を良くし、質の良い桐を育てるために、新しく出してきた枝を取ります。ぼくもやったことがあるのですが、楽しい仕事です。

三島町では、桐を使った製品を数多く作っています。タンスや下駄のほかに、マウスパッド、スピーカー、サーフボード、コースター、ユニバーサルデザインのハープなど、変わったものもあります。中でもぼくがとて意外だと思ったものは、スピーカーです。桐は音の響きが良いとは知っていましたが、本当にスピーカーが作れるとは思っていませんでした。

桐の木は、他の木と比べても優れているところがたくさんあります。それは軽いこと、防カビ効果や防虫効果があること、

桐で三島町をすばらしく

三島小6年

五十嵐

基くん

大谷



きると思います。そのカヌーを使った一桐のカヌー世界大会を只見川で開き、インターネット世界に紹介すれば、日本だけでなく世界中からも参加者が集まり、町も活気に満ちあふれると思います。

三島町で有名な桐タンスは、桐が水蒸気を適度に吸い取り、カビを防いでくれます。それに、服を入れておくと桐のタンニンという物質が防虫効果にもなります。皆さんは、桐の板を干すと板の表面が黒っぽくなる

のを見たことがありますか。この黒っぽいものが渋、つまりタンニンなのです。桐のタンニンはこげ茶色の液体で、サツマイモの臭みのようなにおいがします。なめることもできますが、味は少し渋いようです。服を食べてしまう虫たちは、このタンニンのおいが苦手なのです。だから桐には防虫効果があるのです。この桐のタンニンで、自然の防虫剤が作られれば、赤ちゃんや化学薬品に弱い人が使っても、体に安全で優しいものができるのではないかと考えています。

桐には燃えにくいという性質もあります。杉などの木材は、燃やすと炎を出して燃えますが、桐は炎を出さず黒くこげただけですぐに消えてしまします。火事で家が燃えてしまっても、家の中にあった金庫は無事だったという話を聞いたこともあります。金庫の内側に桐の板を張っていたために、中の大切なものは燃えることなく残ったそうです。この燃えにくい性質を利用して、断熱材が作られています。ぼくは内装や天井に桐の板を使う家を多くしたいという考えがあります。そうすれば火事になったとしても全焼までにはいたらないと思っています。

最後に、桐の木は温度の影響を受けにくいという性質もあります。なぜなら、木の細胞に一つ一つの部屋があり、薄いまくが中に張り付いているからです。その一つ一つの部屋には空気が入っているため、外の温度の影響を受けにくいのです。だから外は寒くても桐は温かいのです。逆に夏の暑いときは、少しひんやりしているそうです。この性質を利用して、桐の床板も作られています。桐の床板は家の中を夏は涼しく、冬は暖かくしてくれます。この桐の床板を老人ホームや保育所など、お年寄りや小さい子どもが使う施設に使えば、自然の温度調節ができ、冷暖房をあまり使わずに済むようになると思います。これは今でいうエコだと思っています。

ぼくは桐の特徴をより深く研究し、データにまとめ世界中の人たちに公表することで、桐のこと、三島町のことをもっと知ってもらえると思っています。タンスや下駄のほかに、桐のカヌー、桐の防虫剤、桐の断熱材、桐の床板など、桐の特徴を生かした物作りをしていけば三島町が本当の桐の町になり、よりすばらしい町になると思います。

障害者への差別をなくそう

三島中2年 ^{こしば} ^{ともみ} 小柴 智美さん 名入

わたしが今、伝えたいことは、障害のある人たちへの差別をなくそうということです。

わたしは小学生のころ友達と一緒に、障害のある人たちを心の中で差別していました。障害を持つ人たちを見ると、どこことなく気持ち悪く、歩き方も変で、何を言っているのか全然分からない障害のある人たちを「身障、身障」と言っ

て心の中ではかにしていました。そんなあるとき、わたしは宿泊学習でちょうど障害のある同じ年くらいの人たちと一緒にになりました。しかも、部屋も隣で食事もし緒だと聞いて、わたしは嫌で嫌でしようがなく思いました。食事のときも広い所だから近くにはならないで済むと思っていました、近

くになつてしまいました。わたしは正直、楽しいはずのご飯の時間が、急につまらないものになつてしまいました。

でも、その夜ときでした。痛みがきをしようと水道場に行くとき、握手をしようと手を出してき

た子がいたのです。そして、わたし思わず差し出した手を握り、にっこり笑う障害のある子が、そのときわいく見えたのです。なぜだか分かりませんが、初めてそんな風に思えたのです。でもそう思い始めると、他のさまざまなお子

様の様子も見えてきました。ある子はふらふらしながらも一生懸命に歩いていました。話せないけど一生懸命伝えている子もいました。その姿を見てすごく感動しました。そのとき、初めてわたしは自分の過ちに気がついたのです。障害を持つ人への差別や偏見は、なんて悪いこと

なんだらう。障害を持つ人をばかにしていた自分の方が、よっぽど

「ボランティア」ということ

三島中1年 ^{すえ} ^{かすみ} 諏江 霞純さん 桧原

わたしは毎朝7時ごろ学校にきます。学校に着いて最初にやることは、花に水をあげることです。これを始めたきつけかけは、わたしは花が大好きで、花が枯れないように、三島中がきれいに見えるように水をやります。次に着替えをし、朝練の準備に行きます。駅伝の練習のときはボカリを作

り、朝練の準備に行きます。駅伝の練習のときはボカリを作り、バレーのときはネットを張ります。いつもわたしはスポーツの面で迷惑を掛けてばかりなので、これぐ

らいはしないと思います、他の人より先にやるよう心掛けています。これらは、わたしができることとして自主的に

行っているということです。自主的に

行っているということです。自主的に



祖父母へのありがとう

三島中3年 ^こ小柴 ^ゆ結佳さん 名入

わたしは今家にいる祖父母のことが大好きです。幼いころからよく面倒を見てもらっていました。最近では祖父や祖母と話すのがとても楽しいと実感しています。時々、祖父母に昔住んでいたころのことを聞いてみたいです。わたしはその当時の苦労したことを聞いて、戦時中の大変だったころのことを聞いて当時の生活を想像しています。どうしてそれを聞いたか、考えたりするかというと、少しでも祖父母の心の支えになってあげられたらいいと思うからです。

ある日、昔わたしが赤ん坊のころの写真を祖父母に見せてもらいました。祖母がわたしを入浴させてくれている写真でした。祖母はこれを見せてからわたしに「おまえはこのころはまだ小せえややだなあ。かわいらしくて面倒見るのが楽しいぐらだったよ」と言いました。わたしはこのことを聞いて自分は今までこんなに大切に育ったんだとあらためて分かりました。

中3の夏、わたしは同級生の女子と二人で一緒に柳津にある老人ホームに行ってきました。その時期はちょうど職場体験の日に当たっていたからです。わたしは中1のときも職場体験で町内の老人ホームに行きました。中3に入ってから老人の介護は、中1のときとできなかった貴重な体験でした。その貴重な体験の中で一番印象に残ったことは、介助食の食事と自由な会話の時間のことでした。介助食をして2日目、わたしはある一人のおばあさんに介助食をすることになりました。初日の介助食はおじいさんだったので、今回は同じ女性なので少し緊張しました。最初におばあさんに食べたいものを聞いて食べさせてあげました。食事は普通食はそのおばあさんは食べられなかったもので、ドリンク状になった食事をバランスよく食べさせてあげました。そしてすべて完食したときに、おばあさんが笑って「ありがとう」と言ってくれて、「ああ、やって良かった。すぐうれしそうに笑ってくれたし、やりがいいなあ」と思いました。そう思ったのは初めてこんなにやりがいいあることができたからです。そのほかにも会話している途中にあったことや、体験が終わってお別れに別のおばあさんからもらった折り紙で折った花束のことなど、そこでの体験はわたしに人を思う親切な心を教えてくれたと思います。

三島町社会を明るくする運動標語コンクール特選作品〈主催〉社会を明るくする運動三島町推進委員会

思いやり 手をとってあつて

ちいきのわ



三島小5年・名入 半澤綾乃さん

その笑顔 わすれないでね

いつまでも



三島小6年・西方 五十嵐豊香さん

あいさつで 笑顔あふれる

町づくり



三島中1年・名入 二瓶和香さん

「ありがとう」大事にしよう

人への優しさ



三島中3年・名入 小柴結佳さん

交通安全運動標語コンクール特選作品〈主催〉三島町交通対策協議会・交通安全協会三島分会

おばあちゃん そのおし車

気をつけて



三島小3年・西方 酒井悠人くん

夕暮れ時 危険がいっぱい

赤信号



三島中3年・西方 五十嵐美香さん

交通安全習字コンクール入賞作品

〈主催〉両沼地方交通安全対策推進協議会

車

三島小3年・大石田 五十嵐尚也くん

安全

三島小4年・宮下 坂内萌人くん

信号

三島小5年・中平 細堀華さん

歩道

三島小6年・西方 本名将くん

交通

三島中1年・宮下 板橋和奏さん

標識

三島中2年・西方 小平達也くん

確認

三島中3年・大登 長谷川絢美さん

みしまの出来事

身近な情報をお寄せください。
☎(48)5515

供養塔に参拝し
虫の命に感謝
自然の恵みに感謝



供養塔に御札を掲げ、線香をあげて参拝した参加者

虫の霊を慰める 早戸地区の「虫供養」

早戸地区の年中行事「虫供養」は11月10日に行われ、地区住民の皆さんなど約20人が参加しました。この行事は駆除した虫の霊を慰めるもので、毎年11月10日に行われています。集落のはずれにある木彫りの供養塔に御札を掲げ、花やお菓子などをお供えし、線香をあげて参拝しました。木彫りの供養塔は平成15年に建てられたものです。それ以前は傍らの桜の古木に参拝していたそうです。



虫供養に参加した早戸地区の皆さん

悲しい事故を
なくしたい
交通安全を誓う



交通事故で7歳の長男を亡くした耐え難い悲しみを語る中曽根えり子さん

第26回両沼地方交通安全町村民大会 三島で開催

両沼地方交通安全町村民大会は11月8日、森の校舎カタクリ体育館で開催され、両沼町村から約300人が出席しました。開催地を代表して齋藤茂樹町長が「常日ごろの交通安全に対するしっかりとした認識を持ち、事故防止に努めたい」とあいさつしました。大会では各種表彰が行われ、交通事故死者ゼロ1000日を達成した金山町が特別表彰を受けたほか、佐久間源一郎さん（早戸）など7人が特別功労賞、小松けい子さん（西方）など11人が功労賞、有限会社栗城（宮下）など6団体が優良団体表彰を受けました。また、交通安全習字コンクールで入選した小中学生が表彰されました。

続いて、にいがた被害者支援センター理事・支援局長の中曽根えりさんが講演しました。中曽根さんは1999年、当時7歳の長男を理不尽な交通事故で亡くしました。その悲痛な胸の内を語り、交通違反の防止を強く訴えました。また、大竹克明くん（三島中3年、滝谷）など3人が交通安全についての提言を発表しました。最後に三島町交通安全母の会の大竹祐子会長が大会宣言を行い、交通事故のない安心して生活できる社会の実現に向けて協力していくことを誓いました。



森の校舎カタクリ体育館で開催された第26回両沼地方交通安全町村民大会

火事は 絶対に 起こさない。

年末年始特別警戒実施
12月15日～1月15日

- ①暖房器具の上には洗濯物を干さない。
- ②暖房器具の周りには燃えやすいものを置かない。
- ③点火したまま動かしたり給油したりしない。
- ④タコ足配線をしない。

会津坂下消防署三島出張所
☎(52)3032



三島町消防団秋季検閲式

本 町民センター図書コーナー ゆめぽけっと

《本の紹介》
図書コーナー運営ボランティア
北館 緑さん

●利用時間 月～土 9:00～21:00
日・祝 9:00～17:00
●お休み 年末年始
●図 教育委員会 ☎(48)5599



一般向け

半島へ、ふたたび

蓮池薫・著
新潮社

1978年、学生のときに北朝鮮に拉致され、24年間日本に帰ることができなかった蓮池薫さん。北朝鮮での厳しい生活、そして自由意思で行動できる今の喜びを語っています。



(C) 角川書店

一般向け

いけちゃんとおぼく

西原理恵子・著
角川書店

ぼくが子どものころ、悲しいとき、つらいとき、楽しいとき、いつもそばに「いけちゃん」がいた。大人になり恋をして、「いけちゃん」が見えなくなった…。



小学生向け

この船じごく行き

山中恒・著
理論社

ちょっとした家出のつもりが、大海原へくり出すことになってしまった少年たち。それも重大な秘密が隠された船に乗って…。



幼児向け

すっぱんぼんのすけ

もとしたいづみ・作
荒井良二・絵
すずき出版

すっぱんぼーんと飛び出したのは、われらがヒーローすっぱんぼんのすけさま。連れ去られた猫のみいちゃんを助けに、忍者を相手に大活躍。

これからの行事予定 town schedule

12月10日(木)

心配ごと相談 9:30～11:30 福寿草

12月17日(木)・18日(金)

議会定例会 10:00～ 議場

12月21日(月)

三島町振興計画審議会 13:30～ 町民センター

12月22日(火)

町営スキー場開き 15:00～ 町営スキー場

1月4日(月)

新年名刺交換会・自治功労表彰式

10:00～ 町民センター

1月6日(水)

三島町消防団出初式 10:00～ 三島神社

1月15日(金)

小正月行事「サイノカミ」 各地区で夕刻から

※国の重要無形民俗文化財

町営スキー場 12月22日オープン

無料のホームゲレンデで楽しもう

○営業日

12月22日～1月7日

※12月31日、1月1日を除き毎日営業

以後の営業は土曜日・日曜日・祝日のみ

○時間 9:00～16:00

※積雪がない場合は営業しません。☎ 教育委員会 ☎(48)5599

みんなで健康づくり《保健事業の予定》

☎ 役場 町民課 保健福祉係 ☎(48)5565

4 カ月児健診

12月 8日(火) 11:15～ 坂下厚生総合病院

機能訓練会

12月 9日(水) 14:00～ 福寿草

ヘルスアップえいよう教室

12月10日(木) 13:30～ 町民センター

心の健康相談

12月15日(火) 13:30～ 福寿草

総合検診(追加日程)

12月16日(水) 8:00～ 町民センター

ヘルスアップうんどう教室

12月16日(水) 13:30～ 町民センター

ＹＹサークル

12月18日(金) 9:45～ 昭和村・すみれ荘

足腰げんき教室(水中運動編)

12月25日(金) 8:00 町民センター集合
リステル猪苗代

足腰げんき教室(室内運動編)

1月 8日(金) 13:30～ 町民センター



社会福祉協議会
地域ふれあいサロン

高清水・小山いきいきサロン

12月8日(火)10:00～ 高清水集会所

滝谷和楽塾

12月17日(木)10:00～ 滝谷集会所

☎ 社会福祉協議会 ☎(52)3344

ご寄附ありがとうございました

町社会福祉協議会へ

ご遺志によるもの

長谷川 寅 彦 様(大 登)

矢 澤 源 成 様(高清水)

小 平 廣 市 様(西 方)

一般のご寄附

会津ヤクルト販売(株) 様

日本年金機構が
1月1日からスタート

会津若松社会保険事務所

社会保険庁が廃止され、新たに「日本年金機構」がスタートします。

国民の皆さまの信頼に応え、一層のサービス向上の実現を目指し、社会保険庁は組織・人員を一新し「日本年金機構」として生まれ変わります。

●現在ある社会保険事務所は、新たに「年金事務所」と名称が変わりますが、年金相談などの窓口として引き続きご利用いただけます。

●日本年金機構の設立に伴い、国民の皆さまに何らかの手続きをさせていただくことは一切ございませんのでご安心ください。

☎ 会津若松社会保険事務所

☎0242 (27) 6951

国民年金
第一号被保険者の皆さまへ

福島県国民年金基金

国民年金基金のご案内

国民年金基金は自営業、農業などの国民年金第一号被保険者の方々が加入できる国民年金法で定められた公的な年金制度です。

●国民年金に加入している20歳以上60歳未満の方が加入できます。

●毎月の掛け金は加入時の年齢で異なり、受け取る年金額は加入口数によって自由に設計できます。

●平成21年4月から掛け金が小口化され、加入しやすくなりました。

●掛け金は全額社会保険料控除、受け取る年金は公的年金等控除の対象となり、税制面で優遇されます。

☎ 福島県国民年金基金

☎0120 (65) 4192

交通事故の電話相談
無料弁護士相談会のお知らせ

会津若松検察審査会

近年、交通事故の形態も複雑化し、その解決にお困りの方が多くなっています。そのため全国に「自動車保険請求相談センター」を設置し、自動車損害賠償責任保険ならびに任意自動車保険の請求などについて、無料で相談を行っています。電話での相談のほか、無料弁護士相談会も行っていますのでご利用ください。

●電話相談 ☎024 (933) 4850

月曜日～金曜日(祝日を除く)

午前9時～正午、午後1時～午後5時

●無料弁護士相談会(12月、1月の予定)

12月10日(木)、12月24日(木)

1月7日(木)、1月21日(木)

午後1時～午後4時

●場所

(社)日本損害保険協会東北支部

郡山自動車保険請求相談センター

郡山市駅前2-10-15 住友生命郡山ビル6階

☎ (社)日本損害保険協会東北支部

郡山自動車保険請求相談センター

☎024 (933) 4850

12月の納税

●固定資産税	第3期
●国民健康保険税	第5期
●介護保険料(普通徴収)	第5期
●後期高齢者医療保険料(普通徴収)	第5期

※納期限は12月25日です。
忘れずに納めましょう。

☎ 役場 町民課 町民生活係
☎(48)5555

交通事故、犯罪などの被害者とその家族、遺族の方々へ

(社)ふくしま被害者支援センター

(社)ふくしま被害者支援センターでは、犯罪や交通事故などの被害者やその家族、遺族の方々に対し、再び平穏な生活を送ることができるよう、秘密を厳守しながら次のような支援を無償で行っています。

①犯罪被害者相談員による電話相談、継続的な面接などの支援

②被害者などの希望に応じて、警察署、裁判所、病院などへの付き添いなどの支援

③犯罪被害者等給付金の申請手続きの補助

④県・市町村・医療機関・福祉機関などと幅広く連携を密にした支援

⑤犯罪や交通事故で被害に遭われたご家族やご遺族の方々の集まりを支援

●相談・支援受付時間

毎週月曜日～金曜日の

午前10時～午後4時

(祝日、年末年始を除きます。)

☎024 (533) 9600

※面接相談は予約が必要となります。

(社)ふくしま被害者支援センターは、会員の皆さまからの会費により運営されています。賛助会員を募集しています。

《年会費》個人 1口 2,000円
法人・団体 1口10,000円

☎ (社)ふくしま被害者支援センター

☎024 (533) 7830

福島市森合町14-6 第二福島トヨタビル2階

三島町の人口と世帯
(11月1日現在)

人口	2,099	-1	出生	1
男	984	-1	死亡	2
女	1,115	±0	転入	2
世帯	854	-1	転出	2

※住民基本台帳による数値です。

歳時記 萌の会

氷霜を超えて一気に松の雪

菊焼いて菊の命を頂きぬ

西方小柴 六進子

猫の鈴夜寒の部屋にひびきけり

列車降り茜紅葉に第一歩

宮下 栗城 三保

新型インフルエンザ

予防接種のお知らせ

●新型インフルエンザワクチン

接種助成事業について

町では、優先接種対象者等（三島町に住所を有する方）に対して、接種費用の全額または半額助成を行っております。接種をされる方は、かかりつけの医療機関で予約した後、役場窓口で接種費用助成の申請を行ってください。

また、特別な事情の場合（かかりつけの医療機関が他県の病院、入院中に接種を受けたなど）は償還払いを行いますので、領収書・通帳・印鑑をお持ちになり役場までお越しください。

高校生から64歳までの住民税非課税世帯の方（基礎疾患をお持ちの方）は、予約受診の際にかかりつけの病院から「優先接種対象者証明書」をもらい、それをお持ちになり役場窓口での申請をお願いします。全額助成の対象になります。

新型インフルエンザのワクチン接種は、各医療機関によって対応が異なりますが、原則として予約が必要です。詳しくはかかりつけの医療機関へお問い合わせください。

☎ 役場 町民課 保健福祉係

☎ (48)5565

助成対象者

全額助成

1回目 3,600 円、2回目 2,550 円

- 乳幼児～中学生
- 妊婦の方
- 生活保護世帯の方
- 優先接種対象者のうち
住民税非課税世帯の方

※ 2 回目の接種は高校生以下が対象です。

半額助成

1回目 1,800 円

- 65 歳以上の方（課税世帯）
- 1 歳未満児の保護者等（課税世帯）
- 優先接種対象者のうち身体的理由で
予防接種ができない方の保護者等
（課税世帯）

※ 65 歳以上の方で基礎疾患を持っている方は 2 回目も半額助成されます。

医療機関で
予防接種を予約



役場窓口で
助成の申請

●かからないための予防

小まめに手洗い、うがい

人込みへの外出を避ける

マスクを着用

咳エチケットを守る

対象者	接種開始時期
1 歳～就学前	12 月 7 日から
小学 1 ～ 3 年生	12 月 7 日から
小学 4 ～ 6 年生	1 月 4 日から
中学生・高校生	1 月中旬から
65 歳以上	2 月後半から

※ワクチンの提供に限りがあり、医療機関によっては接種が困難な場合もありますので予約の際にご確認ください。

編集後記

▼平成23年度からの10年を期間とする第四次振興計画の策定作業が始まります。第三次振興計画では「三島町エコ・ミュージアム構想」をシンボル事業に掲げ、町全体を博物館に見立てた町民みんなが主役の町づくりを目指してきました▼生活工芸、会津桐、民俗行事、温泉など町の良さを活かしながら、さまざまな成果を残してきました。同時に少子高齢化、雇用の不安など多くの課題も抱えています▼文化祭、青少年の主張では、5人の小中学生が自分で調べたことや感じたことを発表しました。その純粋な思いに感動しました。振興計画の策定も、町の10年後を純粋な気持ちで思い描くことから始まると思います。